

組織・発生学

講 師	真 鍋 義 孝	実施時期 単 位 数	第 1 学年前期 1 単位 （20 時間）	実務経験	—
一般目標 (GIO)	人体の成り立ちを理解するために、細胞や組織の構造と生理的はたらき、人体の初期発生、顔面・口腔・口蓋等の発生、さらに顔面の奇形について基本的知識を習得する。				
授 業 概 要	人体を構成する細胞や組織の「形態的特徴 とはたらき」について学ぶ。 1個の受精卵から組織、器官そして人体が形成されてくるまでの基本的過程(初期発生)について学ぶ。 また、歯科衛生士として診療に欠かせない顔面や口腔領域構造の発生(形成)を学び、主要な顎顔面領域の形成異常についても理解する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	必要に応じてレポートおよび小試験を課す。 定期試験(筆記試験)の成績を基本とし、必要に応じて、レポート、小試験の結果を加味して総合的に評価する。筆記試験90%、小テスト、出席状況10%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版 講義内容を要約したプリントを配布する。				
履修上の注意	人体の成り立ちを理解する上に必要な基礎科目です。解剖学、口腔解剖学、口腔組織学、さらには生理学など他の授業と関連させながら、人体の総合的な理解をめざすこと。 授業内容の予習・復習を必ず行うこと。				
参 考 書	牛木辰男 「入門組織学」 南江堂 (定価5,000円程度) (図が豊富でとてもわかりやすい。できれば参考書として利用するのが望ましい。)				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1 2	組織・発生学とは、細胞と組織(細胞、細胞小器官、細胞の一生)	1) 歯科衛生士を志す立場に立って本授業の意義を理解する。 2) 人体を構成する細胞と組織、器官、人体の意味と、これらの関係を概説することができる。 3) 細胞膜の「構造とはたらき」を説明できる。 4) 体細胞分裂の過程を説明することができる。
3 4	細胞の基本的生理機能、組織の特徴(1)	1) 細胞小器官を挙げ、それらの「構造と生理的機能」を概説することができる。 2) 細胞核の構造的特徴と役割をについて説明できる。 3) 4大組織に属する組織(上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織)の名称を挙げ、それらの役割を簡潔に説明できる。
5 6	組織の特徴(2)、発生(染色体～胚葉形成)	1) 4大組織の基本的構造と機能を具体的に説明できる。 2) 遺伝子、遺伝情報、染色体について、およびこれらとの関係について概説できる。 3) 配偶子形成と減数分裂、受精・受精卵の着床について概説し、さらに受精卵から胎児体の基礎となる3胚葉が形成される過程を概説できる。 4) 各胚葉に由来する組織や器官名を挙げることができる。
7 8	胎児の成長と発育、骨の発生、顔面と口腔の発生(鰓弓の形成)	1) 胎児の成長と発育過程を概説できる。 2) 骨の発生の基本を説明できる。 3) 胎児期における鰓弓の形成とその意味を説明できる。
9 10	顔面と口腔の発生 (顔面の形成～腺の形成)	1) 顔面、口腔、口蓋、舌の形成過程を説明できる。 2) 主要な顔面奇形を挙げて、それらの原因を発生学的に説明できる。 3) 頭部領域の腺の発生とそれらのはたらきについて概説できる。